

SERVICE 02



こころの相談 (心理カウンセリング)

ひとりで抱えてきた気持ちを、安心して話せる場所に。



スプラメンター株式会社 (Supra Mentor Co., Ltd.)

こんな課題はありませんか — 2種類の「届きにくい」社員

病気とともに働く社員

- ・眠れない・気分が沈む・不安が続く—病気の診断後、気持ちの整理がつかない
- ・「家族に心配をかけたくない」と、誰にも本音を話せていない
- ・患者本人を支えるご家族(ケアギバー)自身が、疲れ切っている

駐在員・外国籍社員とその家族

- ・異国での生活・子育て・夫婦関係のすれ違いが、赴任のストレスと重なっている
- ・帯同家族(配偶者・子ども)が現地で孤立し、家庭全体が不安定に
- ・母語でこころの話ができる相談先が見つからない

解決策: 臨床経験を持つ多言語カウンセラーが1対1で対応。駐在員のご家庭には、カップル・ファミリーカウンセリングもご用意しています。

サービス概要

- ・臨床心理士など臨床経験を持つカウンセラーによる、オンラインの心理カウンセリング。毎週または隔週の定期セッションで「今、ここにある気持ち」をじっくり言葉にしていきます
- ・認知行動療法やストレスマネジメントなど、科学的に裏付けられたアプローチを使用。うつ・不安、適応障害、発達障害、病気の受容などに対応します
- ・1対1に加え、カップル・ファミリー・グループ形式にも対応——駐在員のご家族の問題（夫婦のすれ違い・帯同家族の孤立・お子さまの適応）は、ご家庭単位で扱えます
- ・国際標準の心理指標（PHQ-9・GAD-7・WHO-5）で状態を定期的に確認し、変化を見える化します

進め方(例)

1. 無料30分相談

2. 状態の確認(心理指標)

3. 週1～隔週セッション

4. 家族・カップル形式も

5. 回復の見える化

ご利用者の声・サクセスストーリー

“

夫の赴任についてきて2年。言葉もできず、友達もいない状態。気づいたら一日誰とも話さない日が続いていました。母語で話せるカウンセラーに出会って、まず『それはつらいですね』と言ってもらえたことが、回復の始まりでした。

30代女性・駐在帯同家族（ファミリーカウンセリング利用）

“

過去にあった怖い体験のフラッシュバックがあり、感情が不安定な時に話を聞いてもらえました。話しているうちに何が怖いのかを整理することができました。どうやったら気持ち軽くなるのか、自分自身のケア方法と具体的な周りの人とのコミュニケーションの取り方に気づくヒントをもらえたことが助けになりました。

30代女性・脳腫瘍治療中・会社員

※事例はプライバシー保護のため、ご本人が特定されないよう複数の事例をもとに再構成しています。

専門家チームと、質へのこだわり



担当する専門家

- ・臨床心理士など、臨床経験を持つカウンセラーが担当
- ・日英中西・ウクライナ語の多言語カウンセラーチーム
- ・診断・薬物療法が必要な状態には、医療機関への受診を適切にご案内（役割分担の徹底）



質を守る仕組み

- ・PHQ-9・GAD-7・WHO-5などによる定期測定で「良くなった気がする」で終わらせない
- ・評価されない・秘密が守られる安全な空間を契約で保証
- ・初回セッション満足保証（7日以内全額返金）

多言語だから、届く

日本語・英語・中国語（繁体字/簡体字）・スペイン語・ウクライナ語に対応。こころのケアは「母語で話せるか」で深さが変わります。通訳を介さず、その人の言葉のまま受け止めます。

AI × 人間の融合 – セッションの間も、取りこぼさない



AIパートナー

- ・ ICF認定のキャンサージャーニーコーチングに基づく「心の診断」から、あなた専用のAIパートナーが生まれます
- ・ 対話を重ねるほどあなたを理解して進化し、日々のセルフケアのヒントを届けます
- ・ 気持ちの波を見逃さず、次のセッションへの橋渡しに



人間による無料サポート

- ・ 無料チャット相談・無料30分ビデオ相談は、AIではなく人間のコーディネーターが対応します
- ・ セッション後は担当者から記録・振り返りをお届けし、次回まで途切れないサポートを実現
- ・ 体調が優れない日は、形式の変更(音声のみ・メッセージ)も柔軟に

セッションの外の168時間(7日間)をどう過ごすかがカウンセリングの効果を引き出します。AIパートナーのセルフケアヒントと、人間による無料チャットが、次のセッションまでの「ひとりの夜」を支えます。

信頼の背景



国際連携

米国UCSF脳腫瘍センター発のサバイバーシッププログラムを日本語化して提供する連携実績



受賞

AYAがんの医療と支援のあり方研究会
「AYA活動奨励賞」受賞



学会発表

国際がんサポーターズケア学会(MASCC)ポスター発表2回に加え、AYAがんの医療と支援のあり方研究会学術集会でもサバイバーシッププログラムについて発表



推薦

- Dr. Susan Chang (UCSF脳腫瘍センター 脳神経腫瘍科ディレクター)
- Shariann Tom (国際コーチング連盟ICF認定教育機関 Cancer Journey Institute CEO)
- 荒木篤実氏 (ベルトラ株式会社 創業者・取締役)

導入は、このサービスひとつからでも

企業・団体のお客様

- ・5つのサービスすべてでなくても、本サービス単体からの導入が可能です
- ・対象範囲・利用上限・レポート形式は個別に設計（お見積り無料）
- ・利用は匿名。人事には匿名集計のみをご報告します

個人のお客様

- ・初回30分の無料ビデオ相談・無料チャット相談からどうぞ（人間が対応します）
- ・「どのサービスが合うかわからない」段階で大丈夫です
- ・初回セッションにご満足いただけない場合、7日以内の全額返金保証つき

まずは、気軽に話してみませんか。

info@supramentor.net | <https://supramentor.net> | オンライン対応・秘密厳守